

# 「がんばろう、なとり」 No.9

東日本大震災 名取市支援活動報告

2011.4.24

## 「第1班」から「第2班」へ バトンタッチ

### 22日 ~ 第2班、いざ名取市へ ~

4月22日(金)の朝6時、第1班と同じ行程で名取市をめざし石狩を出発しました。

道中は、あいにくの雨模様。東北自動車道を南下して、宮城県に入ったあたりから道路事情は一変。道路の一部が盛り上がり、路肩にはコーンが置かれ陥没している箇所も数多くありました。この地震の爪痕をあらためて感じながら、午後9時20分に名取市図書館に到着しました。

菅井名取市図書館長と柴崎司書、百井石狩市民図書館長の3名が夜遅くにもかかわらず、第2班の我々4名を出迎えてくれました。到着後、百井館長と情報交換をして1日目を終えようとしたところ・・・就寝直前に震度3の揺れが。寝床についた職員も飛び起きましたが、少しして揺れは収まりました。今も頻繁に発生する余震への不安な気持ちと明日から現地で活動するのだという思いを胸に、眠りにつきました。



函館 青森間をフェリーで移動  
「一刻も早い復興をお祈り申し上げます」  
の横幕が貼られていました

### 23日 ~ 各地の被災状況を確認 ~

この日は、第1班の中で24日(日)までひとり滞在する百井館長から引き継ぎを受けながら、名取市内を含め各地の施設を視察しました。まずは名取市図書館へ。職員の方と顔を合わせ、館内を見て歩きました。第1班の作業によって、本館や離れの倉庫は格段にきれいになっていましたが、石狩で見て、聞いていた報告のようすと、自分達の目を見た現地の印象はやはり違いました。建物に入った亀裂の数々、床に剥がれ落ちた壁、書架から落ちたまま整理されていない散乱した多数の本。書架に戻す作業は、第2班も引き続き行なう予定です。



第2班のメンバーも笑顔で  
顔合わせ

次に向かったのは、市文化会館。「こどもの広場」に置かれていたブックボックスや昔遊びの道具を確認。子ども達が笑顔で手にしている姿を見ると嬉しくなりました。ここでは多くの方が避難されています。「底冷え」のする床の冷たさに、避難所の過酷さの一面を見た感じがしました。

市役所庁舎、隣にある総合体育館を視察した後、百井館長の運転で閑上地区を走りました。雨が降る中、車の中から見るとその光景に言葉を失ってしまうのは必然でした。自衛隊の方の復旧作業が黙々と続けられていました。

午後からは、仙台市図書館で行なっている臨時開館のようす(移動図書館車は雨天中止) 宮城県図書館を視察しました。

夜には、百井館長から多くの情報を得て、明日から始まる活動の内容を確認し、2日目の活動を終わりました。



仙台市図書館の方と情報交換



全体ミーティングのようす

前日とは打って変わって日差しがまぶしいほどの快晴。ぽかぽか陽気の中、第2班の活動が本格的に始動しました。名取市図書館と石狩市民図書館の職員全体ミーティングでスタートです。

第2班の主な活動は、名取市図書館の臨時開館に向けた準備。そのためには短期間で効率的な作業が求められます。この日は3つのグループに分かれて作業を行ないました。

臨時開館に向けた本の選書

閉上（ゆりあげ）小学校、中学校への貸出本の選書

本館2階の散乱本の書架棚戻し



今後のスケジュールを打合せする  
(左)柴崎司書 (右)丹羽副館長



書架から児童書を選書しています  
第1班の活動が生きていますね！



後日、閉上小学校と中学校の学級ごとに貸出されます



第2班で持ち込んだブックボックス

付箋をつけ、本を横に倒しながら、選書をして後で抜き取ります  
臨時開館に向けた準備です



床に落ちた本を書架に戻します

編集後記

第1班から第2班へバトンタッチしました。このバトンをしっかり受け継ぎたいと思います。到着3日目にして本格的に作業が始まったわけですが、第2班に課せられた主な活動は、臨時開館に向けた作業が中心となります。毎日、「図書館は開館しているのかな？」という利用者の方を実に多く見かけます。その方達のためにも、名取市図書館の職員さんやボランティアの方々と協力して、一日も早い臨時開館を実現できるよう、力を出し切って石狩に帰りたいと思います。皆さんの笑顔が戻る図書館に。4月末までの経過を報告していきます。(K)